

「多摩川河口干潟の観察」 現地報告

活き活き東京湾研究会 大野幸正

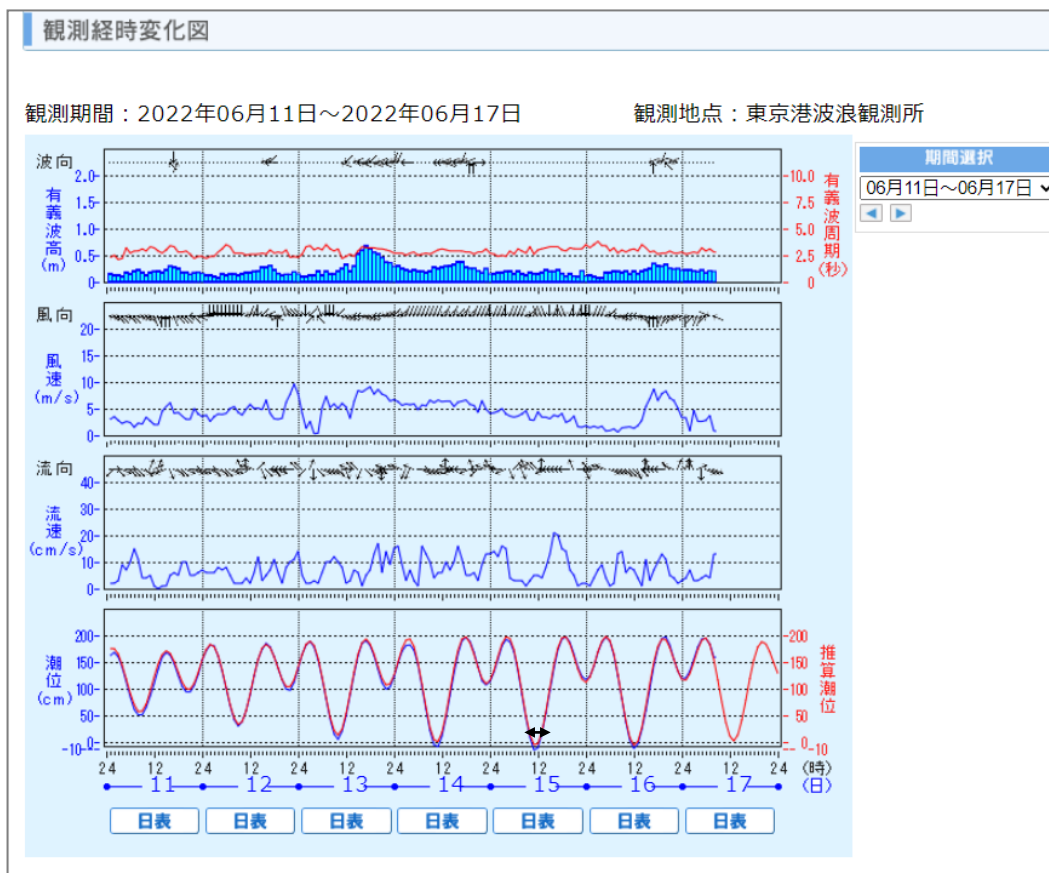
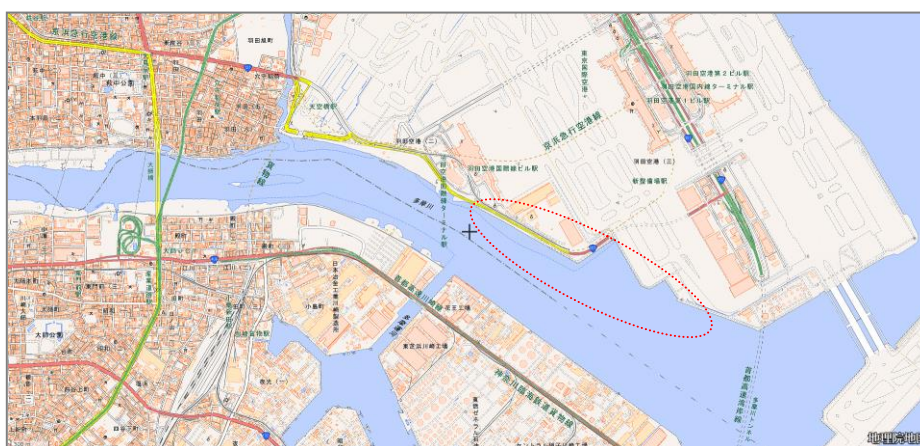
1. 観察の概要

日時：2022年6月15日（水）10：45－13:00

場所：多摩川河口干潟（基図は国土地理院の地形図）

方法：干潟での徒歩採取、写真撮影

潮位：干潮時刻 11：20 (-16 cm)・・・東京港管理事務所資料

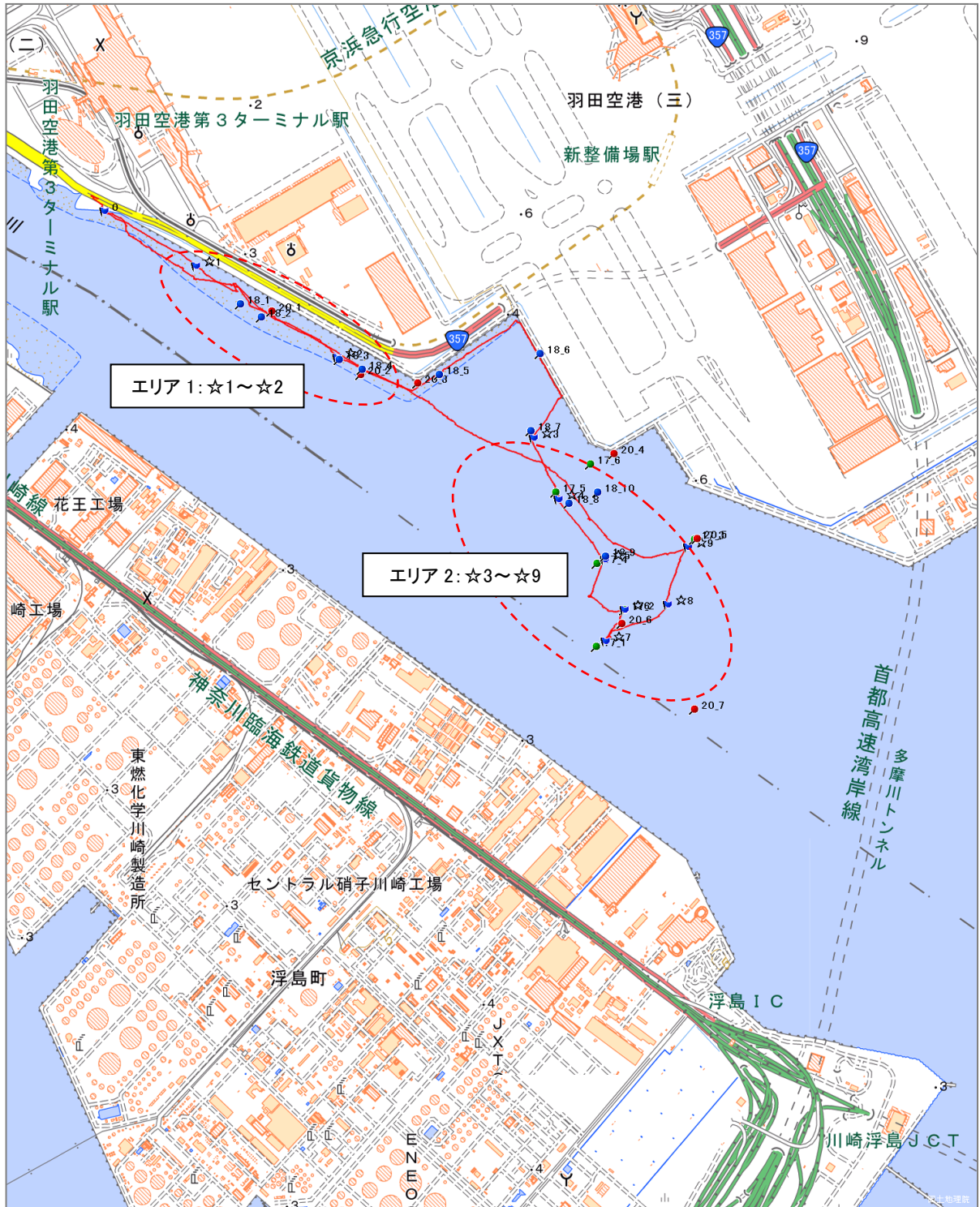


実測潮位図 (出典：東京港管理事務所)

2. 観察のルートなど

2022年は赤線ルートで移動し、これまでに観察箇所とした箇所と概ね同じような位置となるように、青旗の箇所では貝類等を観察した。

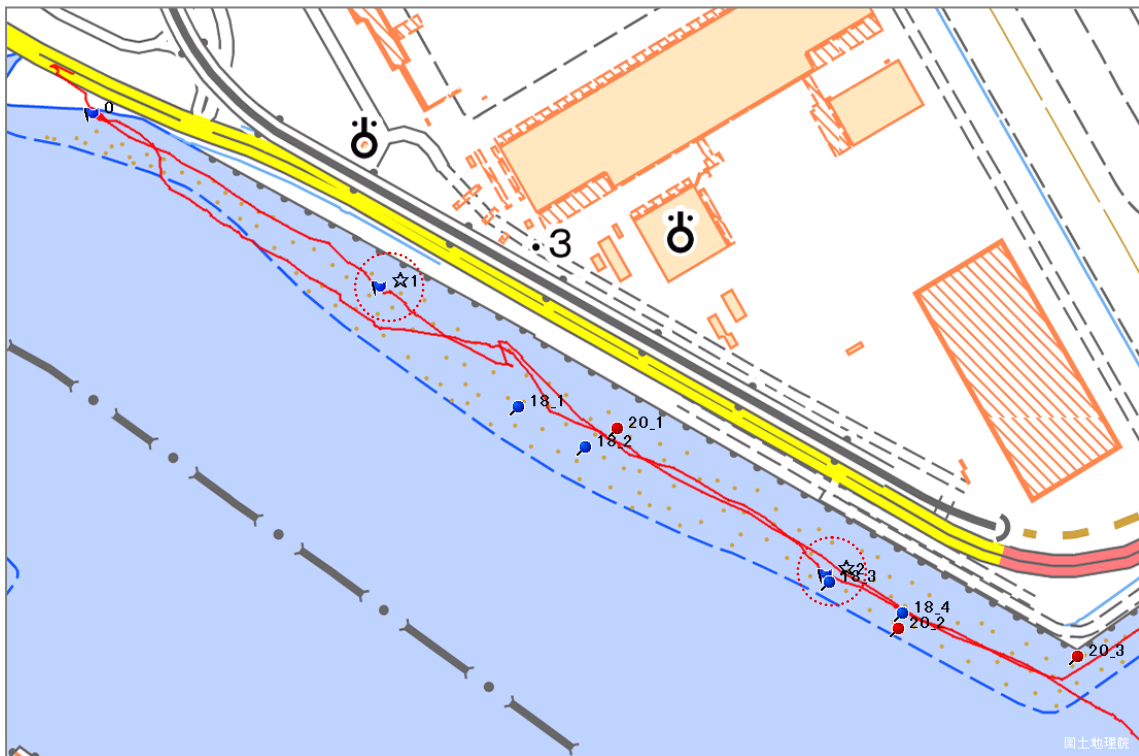
2017年、2018年、2020年の観察位置も参考までに記載した。



2020年：赤印（徒歩）、2018年：青印（徒歩）、 2017年：緑印（渡船）

観察ルート、観察箇所の全体図

3. 現地状況【エリア1_☆1と☆2】



観察箇所の拡大図 (エリア1)

エリア1は、多摩川の左岸沿いに干上がる比較的ぬかるむ干潟で、干出範囲は岸から100m程度である。水際付近の干潟表面を熊手で探ったところ、アサリ、シジミなどの貝類は見当たらなかった。今年の調査では時間がなかったため、このエリアでは熊手による狭い範囲での確認となった。

2018年には、ヤマトシジミが、2020年にはアサリ（稚貝）がそれぞれ確認された。手網やステンレスざるは使用しなかったため、アサリなどの稚貝の状況は確認していない。

☆1 海方向を望む

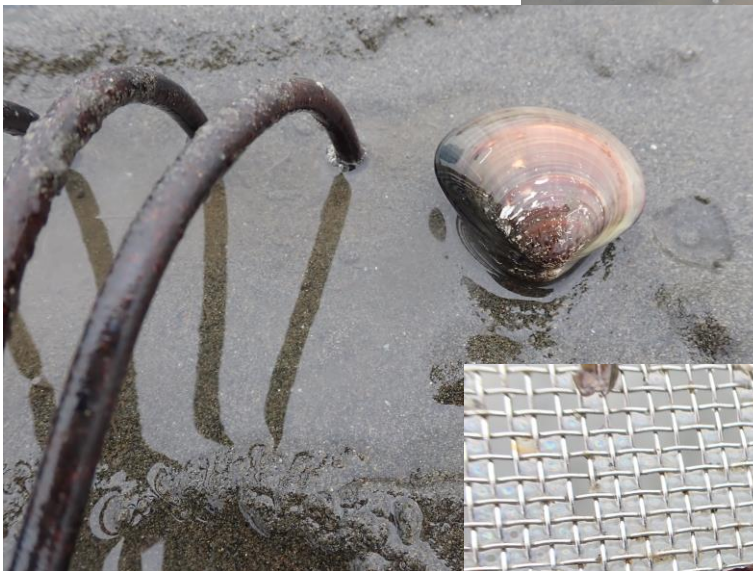


熊手で狭い範囲を確認したのみでは、貝類はいなかった。

4.2 現地状況【エリア 2_☆3】



ハマグリ 1 個



アサリ稚貝 2 個



4.3 現地状況【エリア 2_☆4】



シオフキガイ 1 個



アサリ稚貝 7 個
ソトオリガイ稚貝? 2 個



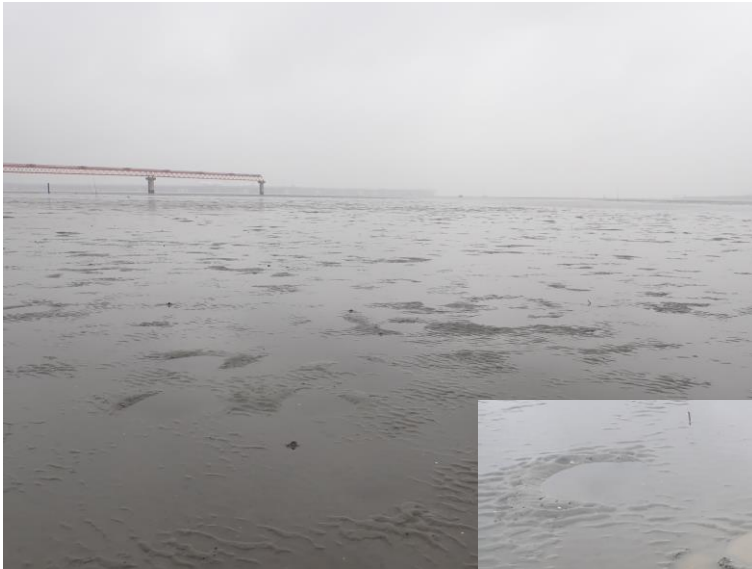
4.4 現地状況【エリア 2_☆5】



アサリ稚貝 6個



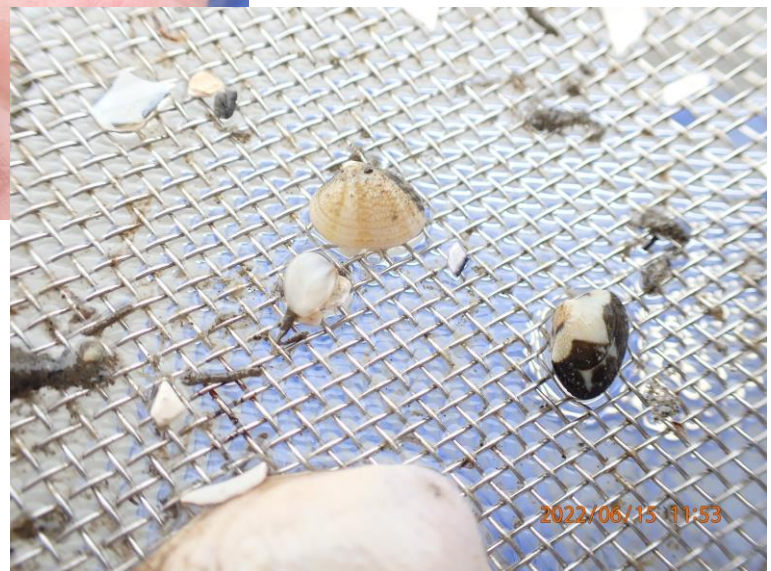
4.5 現地状況【エリア 2_☆6】



シオフキガイ 4 個



アサリ稚貝 3 個



4.6 現地状況【エリア 2_☆7】



シオフキガイ 3 個、アサリ 2 個
カガミガイ? 1 個



アサリ稚貝 1 個
カガミガイ稚貝? 1 個
バカガイ稚貝? 1 個



4.7 現地状況【エリア 2_☆8】



アサリ稚貝 2個
アラムシロガイ 1個

4.8 現地状況【エリア 2_☆9】



シオフキガイ 1個



- アサリ稚貝 3個
- バカガイ 1個
- シオフキガイ稚貝 1個



5. その他確認した生物など

【ハゼ類の稚魚】



【エビジャコ (溜水に群れていた)】



6. 過年度との比較

6.1 エリア 1 (過年度)

【2018年6月29日】



【2020年5月24日】



6.2 エリア2 (過年度)

【2017年5月17日】



アサリの稚貝

【2018年6月29日】



主に、ホンビノスガイとハマグリ



アサリの稚貝



【2020年5月24日】

